



リサイクル燃料備蓄センターにおける津波評価方針 の変更のうち、仮想的な大規模津波の策定について

(内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察)

令和4年1月27日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

津波評価結果（概要）

➤ 既許可（R2. 11. 11）の申請での評価

- ・ リサイクル燃料備蓄センターの施設特性上、敷地がドライサイトである必要はないことから、仮想的な大規模津波を想定し、敷地が浸水したとしても施設の健全性を確保できることを示すことで津波に対する評価とすることとした。
- ・ 仮想的な大規模津波を策定するにあたっては、青森県の津波想定をベースとし、敷地付近における津波想定 の最大高さ（T. P. +11. 5m）を2倍して、23mの津波高とした。

➤ 今回申請（R4. 1. 20）での評価

- ・ 2020年4月、内閣府の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会が、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について（概要報告）」を公表した。また、2021年5月、青森県海岸津波対策検討会が、内閣府の公表内容を踏まえた津波想定を公表した。
- ・ 公表された津波想定（敷地前面海域での津波高T. P. +13. 4m）の内容を踏まえても、既許可の申請で示した仮想的な大規模津波（津波高さT. P. +23m）の評価範囲内であり、既許可の申請での評価結果に変更はない。

目次

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察	3
参考文献	11

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

- 2020年4月、内閣府の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会が、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について（概要報告）（以下、「内閣府(2020)という。」）」を公表した。
- 内閣府(2020)は、過去6千年間の津波堆積物から想定される最大の津波断層モデルを、防災対策の観点から想定する最大クラスの津波断層モデルとして取り扱うこととし、岩手県沖から北海道日高地方の沖合の日本海溝沿いの領域を対象とした「日本海溝（三陸・日高沖）モデル（Mw9.1）」、襟裳岬から東の千島海溝沿いの領域を対象とした「千島海溝（十勝・根室沖）モデル（Mw9.3）」としている。
- 2021年5月、青森県が、内閣府の公表内容を踏まえた津波浸水想定（以下、「青森県(2021)という。」）を公表した。

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

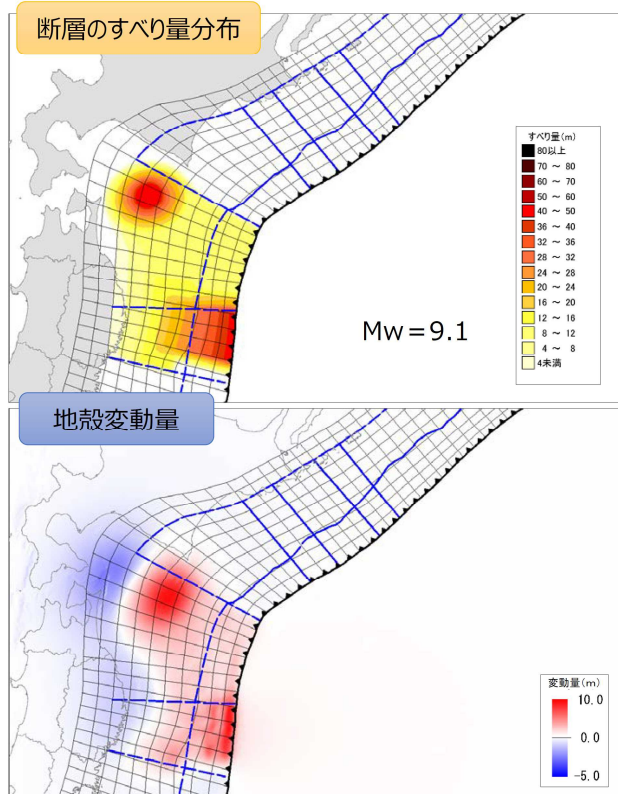
内閣府(2020)：最大クラスの津波断層モデルの概要

- 日本海溝(三陸・日高沖)モデルMw9.1，千島海溝(十勝・根室沖)モデルMw9.3を設定

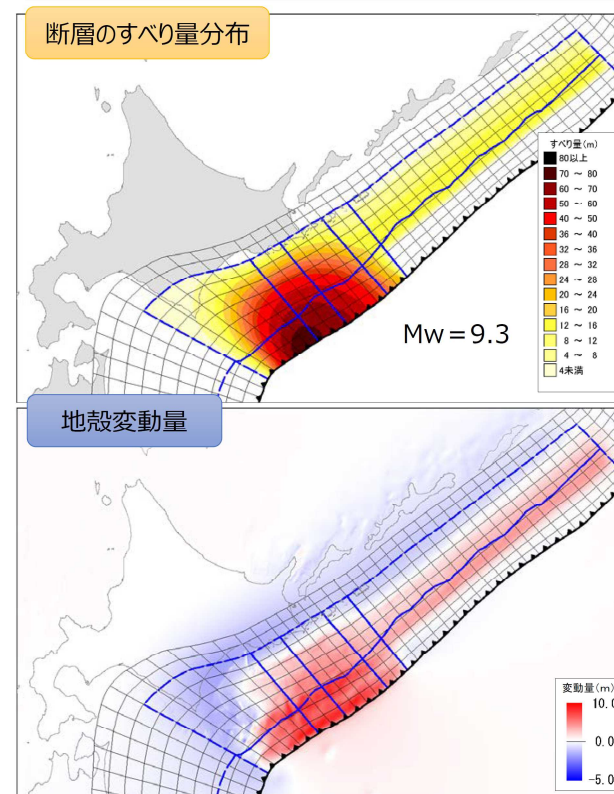
最大クラスの津波断層モデル

○津波堆積物などのデータを用いて、これらを説明するような津波断層モデルを推定し検討

【①日本海溝(三陸・日高沖)モデル】



【②千島海溝(十勝・根室沖)モデル】



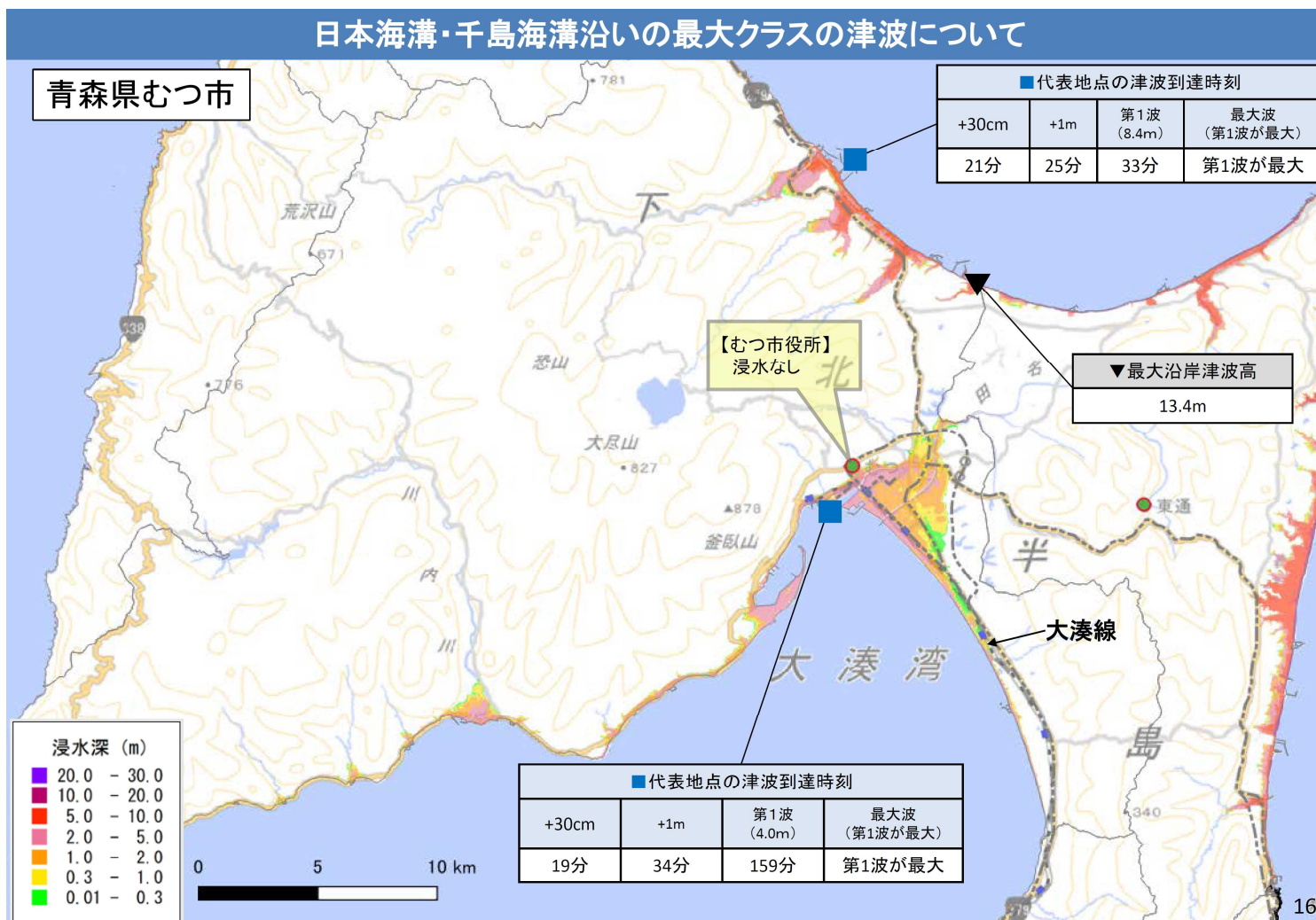
津波断層モデル

(http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/model/pdf/sankozuhyou.pdf から引用)

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

内閣府(2020)：日本海溝（三陸・日高沖）モデルによる浸水想定

- むつ市における最大沿岸津波高は、津軽海峡側の敷地前面付近における13.4m



浸水想定 (むつ市)

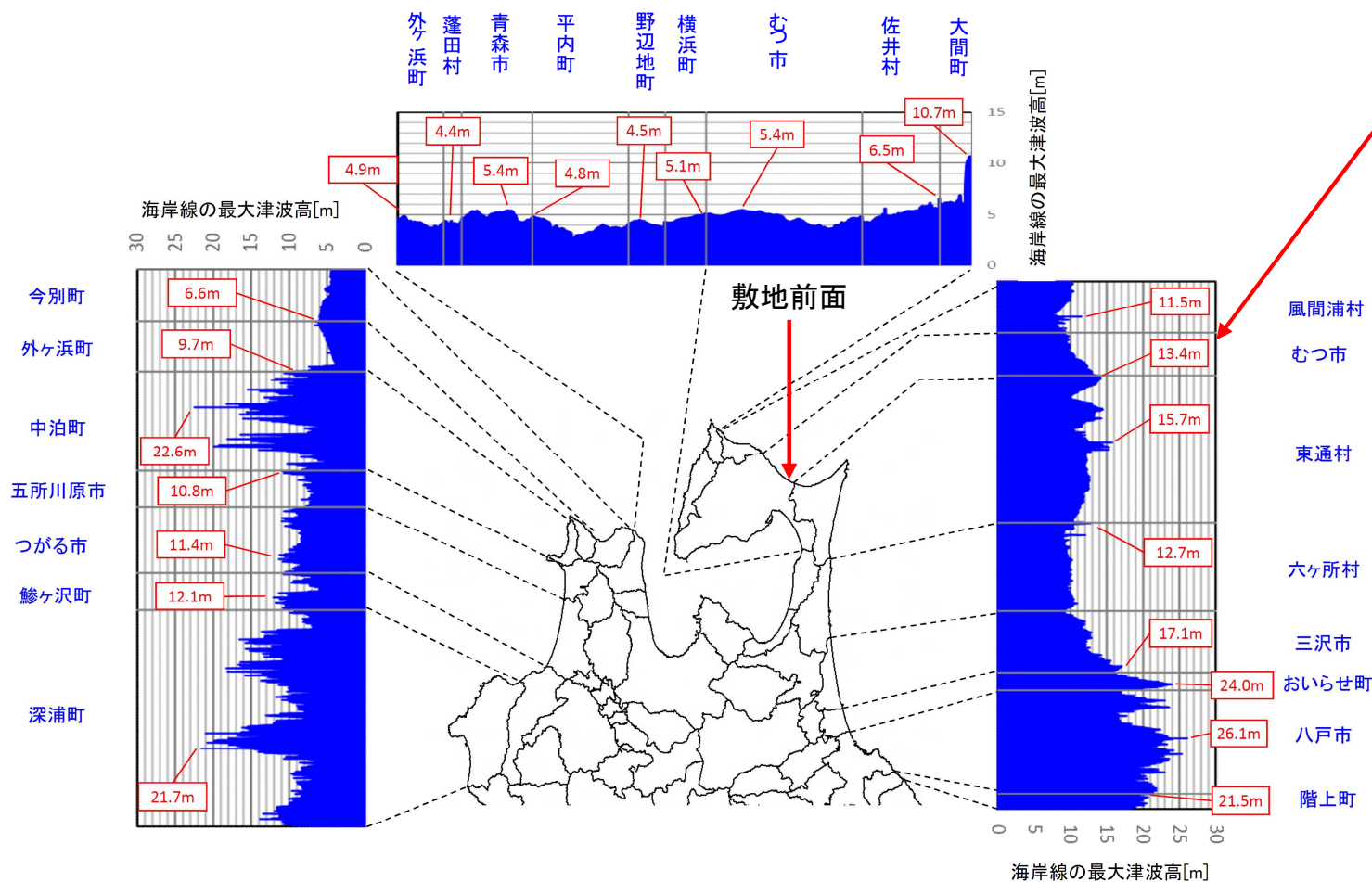
(http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/model/pdf/aomori.pdf から引用)

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

青森県(2021)：最大津波波高

- むつ市津軽海峡側の最大津波高は、敷地前面付近における13.4m

青森県想定津波 海岸線の最大津波高



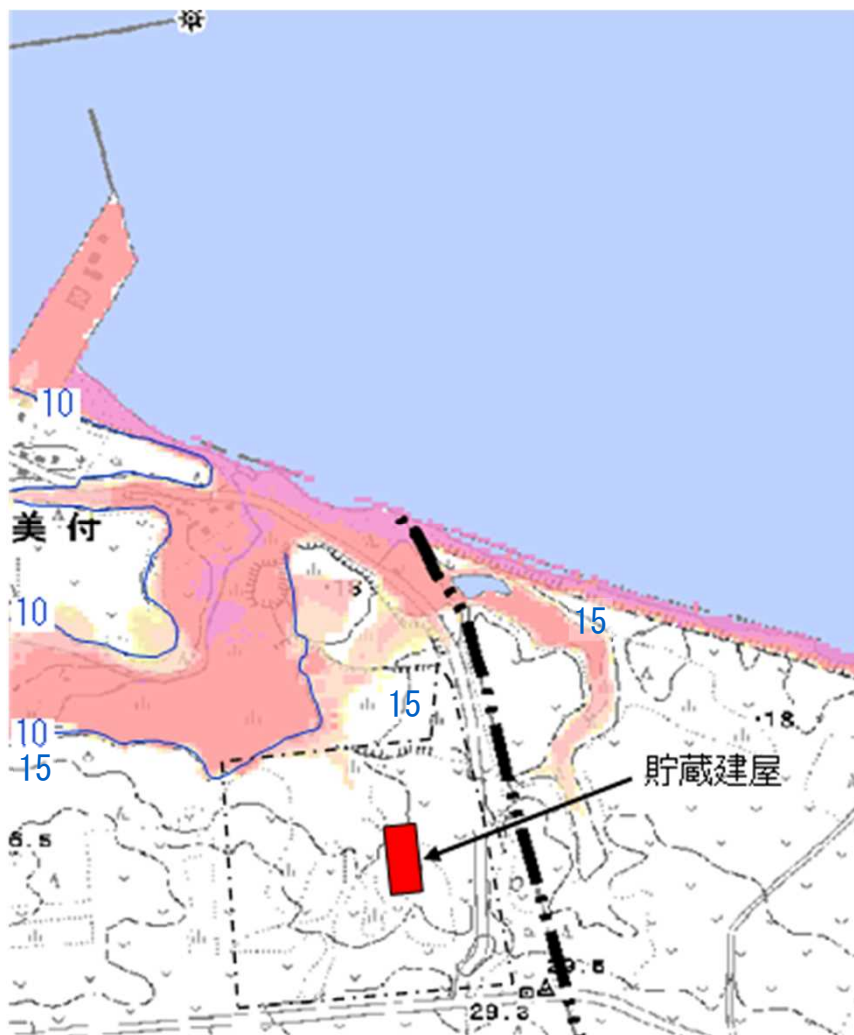
むつ市津軽海峡側の敷地前面付近の最大津波高は13.4m

なお、むつ市と東通村の境界付近における東通村側の最大津波高は、むつ市側よりも若干高いが、14mを僅かに超える程度(図読)

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/tunami-sinsuisoutei.html> に一部加筆

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

○敷地付近の浸水マップ



- 青森県想定 of 浸水マップにおいて、敷地付近の浸水域はT. P. +15mの範囲内となっている。

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/tunami-sinsuisoutei.html> に一部加筆

1. 内閣府(2020)及び青森県(2021)に対する考察

- 2020年4月、内閣府の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会が、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について（概要報告）」を公表した。また、2021年5月、青森県海岸津波対策検討会が、内閣府の公表内容を踏まえた津波想定を公表した。
- 公表された津波想定（敷地前面海域での津波高T.P. +13.4m）の内容を踏まえても、既許可の申請で示した仮想的な大規模津波（津波高さT.P. +23m）の評価範囲内であり、既許可の申請での評価結果に変更はない。

参考文献

- 1) 内閣府(2020):日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について(概要報告), http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/model/pdf/honbun.pdf
- 2) 青森県(2021):津波浸水想定の設定, <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/tunami-sinsuisoutei.html>